

2020年12月7日
朝日生命保険相互会社
国際金融公社
トロント・ドミニオン日本証券株式会社

国際金融公社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について
～教育分野を含むSDGsへの貢献を支援～

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長：木村博紀、以下「朝日生命」）は、国際金融公社（正式名称：International Finance Corporation、以下「IFC」）が発行する「ソーシャルボンド」（以下「本債券」）への投資を行いましたのでお知らせします。

IFCのソーシャルボンドは、ソーシャルボンド原則を遵守し、調達した資金は、融資にアクセスできない女性が経営する小規模企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、収穫した農産物を売るための市場にアクセスのない小規模農家といった、必要なサービスを受けられない人々を受益者とするプロジェクトに充てられます。



（出典：IFC）

中でも途上国の教育分野においては、女子学生の就学率の低さ、国公立大学のキャパシティ不足、コンピュータサイエンスやエンジニアリング等のカリキュラムや設備の不備、奨学金不足などの課題が山積しています。IFCのソーシャルボンドは、こうした問題に取り組む教育プロバイダー等の支援を通じ、途上国における質の高い教育と学生を支援しています。

<本債券の概要>

発行体名称：国際金融公社（International Finance Corporation）

発行総額：65百万豪ドル（約50億円相当）

償還期限：2035年12月7日（2023年以降に発行体の裁量により繰上償還可能）

本件は、債券の発行体であるIFCと資金の出し手である朝日生命の直接的な協議を経て実現に至った取引であり、公募債とは異なった形態となっています。

朝日生命は、中期経営計画「TRY NEXT」において「一人ひとりの”生きる”を支える」というビジョンの下、第三分野商品を中心にお客様ニーズにお応えしていくこと、とりわけ介護保障の更なる普及に努めること等を通じて「社会に貢献し、お客様から信頼され、選ばれ続ける会社」となることを目指しています。資産運用においても、同様の理念を持ち、持続可能な社会の実現に貢献していくため、ESG 投融資への取組みを一層推進してまいります。

【IFC のソーシャルボンドプログラムと関連のある SDGs】

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ■目標 1：貧困をなくそう | ■目標 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに |
| ■目標 2：飢餓をゼロに | ■目標 8：働きがいも経済成長も |
| ■目標 3：すべての人に健康と福祉を | ■目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう |
| ■目標 4：質の高い教育をみんなに | ■目標 10：人や国の不平等をなくそう |
| ■目標 5：ジェンダー平等を実現しよう | ■目標 11：住み続けられるまちづくりを |
| ■目標 6：安全な水とトイレを世界中に | ■目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう |



国際金融公社について

国際金融公社（International Finance Corporation、略称：IFC）は、世界銀行グループの一員であり、新興国における民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFCは、世界100カ国以上で資金、専門知識そして影響力を駆使することで、途上国において市場と機会を創出するための支援を行っています。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有を促進するべく民間資金を最大限活用し、2020年度は途上国の民間企業と金融機関に対し220億ドルの投融資を行いました。詳細はwww.ifc.orgをご覧ください。



市場を拓き、機会を創る



TD セキュリティーズについて

TDセキュリティーズは、TD Bank Groupの市場部門として、世界の主要発行体、及び投資家との強力なリレーションとリサーチ力をベースに、資本市場での債券発行や投資運用のソリューションを提供しています。また、日本の現地法人であるトロント・ドミニオン日本証券は、本邦機関投資家に対して外貨資金の調達や債券の運用機会を提供、また債券発行による調達に関する情報提供を行っております。

以上